

**[成果情報名]パインアップル「沖農 P17」の八重山地域における適切な花芽誘導処理時期**

[要約]八重山地域における「沖農 P17」の露地栽培では、5月下旬から6月中旬および9月中旬から11月中旬に花芽誘導処理することで、良食味で障害の少ない高品質果実が得られる。

[キーワード]パインアップル、「沖農 P17」、花芽誘導処理、小果腐敗病、軟腐症

[担当]沖縄県・農業研究センター・石垣支所

[代表連絡先]0980-82-4067

[分類]普及成果情報

**[背景・ねらい]**

生食用パインアップル「沖農 P17」(サンドルチェ®)は、他の生食用品種と比べ、自然出蕾で結実する自然夏実の糖酸比が高く、果肉内部の一部が腐敗する小果腐敗病や果皮が褐変する軟腐症などの果実障害も発生しにくい特徴を持つ。一方、人為的な花芽誘導処理(以下、「処理」)により結実させた際の果実特性や収穫時期が明らかにされておらず、このことが生産組合等の出荷計画を立てる際の課題となっている。そこで、本研究では、八重山地域で3月から11月にかけて処理を行い、良食味とされる糖酸比18基準以上の果実を生産でき、果実障害の発生も少ない処理時期を明らかにする。

**[成果の内容・特徴]**

1. 5月下旬から6月中旬および9月中旬から11月中旬の処理では、糖酸比が18以上となり、小果腐敗病や軟腐症の発生率も低く、処理時期として適している(図1)。
2. 7月中下旬から9月上旬の処理では、糖酸比が18未満となる(図1)。
3. 3月下旬から5月中旬の処理では、小果腐敗病の発生率が高い(図1)。
4. 6月下旬から8月中下旬の処理では、軟腐症の発生率が高い(図1)。
5. 処理時期として適した5月下旬から6月中旬および9月中旬から11月中旬に処理した際、平均収穫日はそれぞれ10月下旬から12月上旬および4月中旬から7月中旬までの期間となる(図2)。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及対象:パインアップル生産者、農業協同組合、パインアップル生産組織。
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等:八重山地域 5ha
3. その他:
  - 1) 生産組合や生産農家が、「沖農 P17」における処理時期の検討や収穫時期を予測する際の参考資料として活用する。
  - 2) 供試株は、エテホン1,000倍希釈液に重量比で3%の尿素を加えた溶液30mLを葉芯へ灌注することで花芽誘導した。また、3月から8月までの処理には処理前年の3月から4月に植付けた春植え株を、9月から11月の処理には処理前年の8月に植付けた夏植え株を供試した。自然夏実については、収穫前々年の8月に植付けた夏植え株から収穫した。  
なお、各処理時期の供試果実数は38~240果、供試果実の冠芽込み果実重の平均は932g~1,244gであり、サンドルチェ®の商標使用基準である冠芽込み果実重800gを満たした。
- 3) 本技術は、農業研究センター石垣支所で2016年から2022年に収穫した果実から作成した目安である。異なる地域で栽培する場合は事前に試行する必要がある。

[具体的データ]

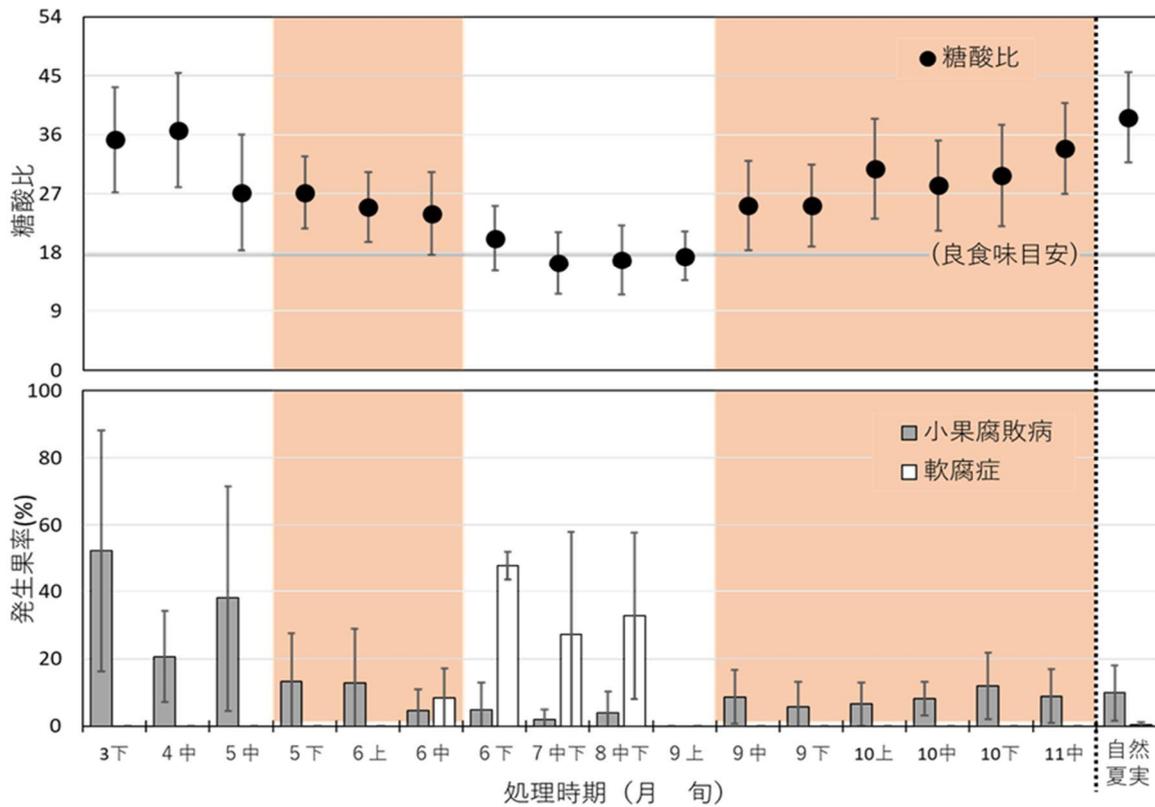


図1 花芽誘導処理時期別の糖酸比および小果腐敗病ならびに軟腐症の発生果率

- 1) 各処理時期の数字および漢字はそれぞれ花芽誘導処理を行った月と旬を示す。また、糖酸比が18以上で、果実障害の発生も少ない花芽誘導処理時期を着色して示す。
- 2) 糖酸比の値は2016年から2022年に収穫された全果実の平均値および標準偏差を示す。
- 3) 小果腐敗病および軟腐症の発生果率は各調査年における発生率の平均値および標準偏差を示す。

花芽誘導 処理時期	平均収穫日								花芽誘導処理 から収穫までの日数
	10月	11月	12月	...	4月	5月	6月	7月	
5月 下旬		↔							156.9 ± 5.1
6月 上旬		↔							160.3 ± 4.2
6月 中旬			↔						163.6 ± 4.3
9月 中旬					↔				221.7 ± 12.8
10月 上旬						↔			224.7 ± 15.2
10月 中旬							↔		227.2 ± 16.2
10月 下旬								↔	226.4 ± 9.4
11月 中旬								↔	230.6 ± 9.6
自然夏実								↔	-

図2 花芽誘導処理時期別の平均収穫日と花芽誘導処理時期

- 1) 図中の矢印は、2016年から2022年までの各調査年における各花芽誘導処理時期の平均収穫日の範囲を示す。
- 2) 花芽誘導処理から収穫までの日数は平均値±標準偏差を示す。

(沖縄県研究センター石垣支所)

[その他]

予算区分：県単 (いっぺーまーさんパインアップル強化事業)

研究期間：2016～2022年度

研究担当者：與那覇至、武末翔馬、仲村昌剛、東嘉弥真勇人、宮里進

発表論文等：